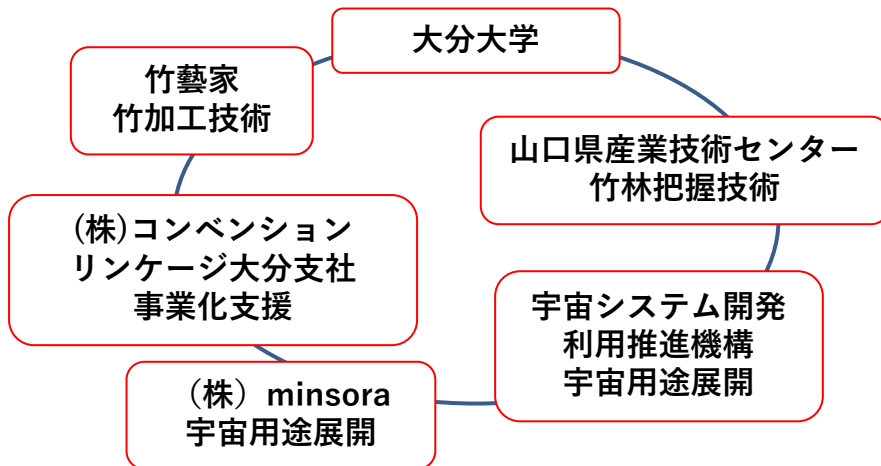


●事業概要

認定期間:2018年5月～2021年3月

竹がもたらす環境・生活環境問題の「竹害」の解決を目指し、地方独立行政法人山口県産業技術センター、一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構、株式会社minsora、(株)コンベンションリンケージ大分支社、竹藝家の「オープンイノベーション」体制で、「竹を次世代で利活用する技術の社会実装を目指し、さまざまな立場、業種、分野のアイデア、実践、ノウハウ、データ、知識などを組み合わせる研究活動を行うと共に、技術の開発と深化を進め、新たな産業基盤の創出と社会の活性化に取り組むこと」をコミットメントとして活動を進めている。

●実施体制



●実施スケジュール(実績及び予定)

2018～2019

- ・ 取り組みが大分市市報に掲載(2018年7月15日)
- ・ 設置を学長定例記者会見で周知(2018年7月26日)
- ・ 宇宙ビジネス起業支援セミナーへの協力(2018年8月29日)
- ・ 本BURSTチームが基礎となり、理工学部と宇宙システム開発利用推進機構との連携協定が締結(2018年10月17日)
- ・ 日本科学未来館でトークイベントに出演(2019年3月3日)
- ・ 四館連携・創業支援交流会で講演(2019年3月14日)
- ・ 商標CELEENAの取得(2019年3月22日)
- ・ 西日本製造技術イノベーション2019に出展(2019年6月19日～21日)
- ・ TVQ(九州放送)、ふくさて！で特集される(2019年8月)

2020～

- ・ 報道機関各社との懇談会で登壇(2020年1月28日)
- ・ 「おおいた竹取物語オープンイノベーションセンター(xTopic)」研究・事業化進捗発表会！で講演(2020年2月27日)
- ・ 竹フェイスシールドの制作と附属病院への提供(2020年4月)
- ・ ISTSキックオフイベントでの登壇(2020年8月9日予定)

これまでの成果

① 設置を学長定例記者会見で発表(2018年7月26日)



② 本チームを基礎に、理工学部と本チームメンバー(宇宙システム開発利用推進機構)との連携協定を締結

③ TVQ(九州放送)、ふくさて！で特集(2019年8月)

④ 竹フェイスシールドの制作と附属病院への提供(2020年5月)⇒



今後の展開及び期待される成果

- 竹からセルロースナノファイバーを製造する大分大学プロセスに基づくベンチャーの起業
- 竹の利活用による環境保全と産業・地域振興
- 大分大学プロセス製セルロースナノファイバーの宇宙利用

